

苫小牧市立清水小学校学校便り

# 清水の子



『未来を創造する  
清水の子の育成』

- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@city.tomakomai.hokkaido.jp  
第2号 平成28年 5月23日発行



## 統一感を持ったチーム清水

校長 一谷 浩之

新学期のエネルギーあふれる始動期は、先生達と子ども達の希望あふれる取り組みで瞬く間に過ぎていきました。それぞれの学級が今年1年の目標を見据え活動期に入っています。来週からは運動会特別日課も始まり学校生活は更に充実したものになっていくでしょう。

さて、学校と家庭は子どもを中心とした車の両輪であるといわれています。子どもの生活の3分の1（8時間）は睡眠です。残りの時間を学校と家庭が3分の1（8時間）ずつ責任をもって分担し子どもを育てていくことが我々に課せられた使命なのです。学校は学習の基礎基本を教えます。また集団生活を通じた社会性を身につけさせる場でもあります。家庭は挨拶や食事など基本的な生活習慣を身につけさせなければなりません。

「教育という川の流れの最初の水源の清冽な一滴となり得るのは家庭教育である。家庭は厳しい躰の場であり、同時に会話と笑いのある庭である。」作家・曾野綾子の言葉です。子どもの人間形成の本質を表している言葉です。家庭教育の重要性と家族の愛を感じられる言葉です。どうか親の物差しで人としての在り方、生き方を教え込んであげてください。

学校と家庭が文字通り両輪となり教育に当たる事は、子ども達の健全な成長のために不可欠なことです。本校は今年度の重点目標を『統一感を持ったチーム清水』というスローガンでまとめました。チームとは一丸となった教職員を指す意味と、保護者の皆さんと地域の皆さんと学校とが同じ目標に向かって手を取る姿をイメージしたものです。「子どもにとって安全安心な学校」「子どもにしっかりと学力体力をつける学校」「子どもに豊かな感性を培う学校」を目指して教職員一同、課せられた学校の使命を自覚し一丸となって努力していきます。ご家庭では家庭訪問や参観日等で担任と共通理解した役割協力の取組を実践してください。

どうぞご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

